（本社・工場）

アドバン工業株式会社

和歌山県和歌山市

品質、コスト、納期、誠意では どこにも負けないものづくり！

代表取締役社長
長尾　宗紀さん

◇御社の歴史を教えて下さい。

先代社長が昭和四五年に省人化機械設計から金属部品加工、人組立、現地での据付けまで請け負ったのが、アドバン工業の始まりです。当社は「縁の下の力持ち」として、車のステアリングやエアバックに使われる自動車用精密部品、フォークリフト等の油圧ポンプ用部品、産業用空調機用部品など工作機械を使って製造しています。

今、産業界の製品づくりは多品種、少量生産が主流になり、また各種精密機械の中には、ただ一種類か所にしか使用されない部品もあります。このようなザーの状況の中で、あらゆるユーザーのニーズに応えて、より早く、より低コストでお届けするように、常に前向きに取り組んでいます。さらに「無限の創造にチャレンジする」の精神で造アイデアと技術を築いてきました。

◇御社のものづくりへのこだわりを教えて下さい。

製品に対する考え方、技術に対する考え方を、常にユーザーの立場で考え、いつもご満足いただける製品づくりに取り組んでいます。

現在、一つの部品を、多いものから数万個を製造するので、月に数千から数万個を製造するので、より安くかつ高精度の加工を作るために専用の治具を自社で開発しています。この加工治具のおかげで実務経験に関係なく作業ができるので、若い人や女性にも活躍してもらえる職場になっています。また繰り返し作業等は順次ロボット化を推進していますが、創造的な仕事は人材育成を通じて、日々技術開発を行っています。このような「開発力」と「人材」がわが社の強みでもあります。

また、お客様から注文を頂いた場合、そのまま製造するのではなく、お客様が儲けて喜んで頂けるような「提案型営業」を心掛けています。

（各種加工製品）

◇御社の人材育成について教えて下さい。

わが社は、先輩がOJTを中心に基礎から応用までをみっちりと指導まもしまらすので、最新の工作機械で比較的早くマスターできます。また、従業員のスキルアップを図るために、社内で技能検定を推進しており、自己啓発の一環としてレベルを引き上げています。個々のレベルのお蔭で、わが社の技能検定の合格率は県下トップレベルです。

また、OFFJTは、新入社員教育から中堅社員研修等においては、社外セミナーも活用しています。更に、頑張る人には「一人前」になれるチャンスを与えています。将来を見据えると、後輩を指導できる人材の育成が急務だと考えます。

仕事面では厳しく指導していますが、従業員やその家族を含めて福利厚生にも力を入れています。さらに、従業員のモチベーションアップを図るため、業績が良ければ従業員に還元するように心掛けています。

◇ポリテクセンターから採用した感想は？

ポリテクセンターの訓練生は、自らの決意を持って訓練を受けているという感じで意気込みと熱意が違います。

現在三名の修了生が在籍していますが、昨年初めて女性を採用させていただきました。当初は、彼女自身が初めての業界ということもあり不安に感じ、上司から習ったことを少しでも早く修得したいという前向きさを感じ取れました。

いずれの修了生もポリテクセンターで既に機械加工の基礎ができていますので教えやすく、現在も加工現場の第一線の戦力として活躍してくれています。

◇ポリテクセンター和歌山に期待することは？

これから益々優秀な人材確保が難しくなる中で、一定の教育を受けていることも大事ですが、自ら知識、技能を取得しようとする「やる気」のある人は大変魅力的な人材です。「ものづくり」が好きで、活気のある人材を求めていますので、これからも宜しくお願いします。

（令和元年十一月取材）

修了生の声（CAD・NC技術科）

平成３０年4月修了
竹田　弥生　さん

前職は介護職に従事していました。転職時、ハローワークに相談しポリテクセンターのCAD・NC技術科に入校することを決意しました。

父親が金属加工の仕事をしていた関係で、幼いころから仕事現場を観ていましたので、ものづくりに対する興味は強かったです。

訓練は機械加工から始めましたが、特に旋盤操作に夢中になり「加工すること」が本当に楽しかったです。自分の手で鉄を加工することに醍醐味を感じました。

２次元ＣＡＤや３次元ＣＡＤも大変勉強になりましたが、パソコンを操作するよりも機械作業の方が好きです。

現在、フライス班で加工や検品の仕事に就いています。今年、技能検定３級の資格を取得できましたし、更に２級の資格に挑戦しようと考えています。ポリテクセンターで学んだことが、今の仕事の基礎となっていますが、職場では周りの皆様に助けられて仕事をしているのが現状です。

一日も早く「一人前」と認めてもらえるように、日々緊張感をもって仕事をしています。

受身の仕事ではなく、自ら考えて創造的な仕事をしていきたいと考えます。

ポリテクセンターに入校する女性後輩の方にアドバイスです。たとえ女性一人で入校したとしても心配しなくて大丈夫です。女性ということで憶する必要もありませんし、先生も仲間の方も凄く親切で優しいです。安心して入校してください。

修了時には、訓練を受けて良かったという気持ちになると思います。